

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[どのようにコンフィギュレーション ファイル バックアップを自動化するか、またはスクリプトを書くことができますか。](#)

[saveconfig を使用して特定のホストへの設定を保存すること](#)

[mailconfig を使用して Eメールアドレスへの設定を E-メールを送ること](#)

[定期的に動作するためにタスクをスケジュールして下さい \(UNIX/Linux \)](#)

[どのように Windows システムからのコンフィギュレーション ファイル バックアップを自動化するか、またはスクリプトを書くことができますか。](#)

[定期的に動作するためにタスクをスケジュールして下さい \(Windows \)](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) に対しておよび retrieve 更新の作成と関連付けられる基本概念および理解を実行するために外部ホストのためのスクリプト記述したものです。

注 この技術情報は proof-of-concept 一例として基礎であり。これらのステップが完全にテストされる間、この技術情報はデモおよび実例の目的のため主にです。カスタムスクリプトは Cisco のスコープおよびサポート可能性の外にあります。Ciscoテクニカル アシスタンスはカスタム外部スクリプトを書きませんか、アップデートするか、またはいつでも解決します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- スクリプトを書き、タスク スケジューリング OS
- SSH keypair 設定および手順

どのようにコンフィギュレーション ファイル バックアップを自動化するか、またはスクリプトを書くことができますか。

コンフィギュレーション ファイルは動的に CLI からの `saveconfig` か `mailconfig`、または GUI (システム 管理 > コンフィギュレーション ファイル) による関連するバックアップ オプションを使用するとき生成されます。有効なバックアップを持つために ESA にロードされ、適用それは最もよいです「暴露します」パスワードを。これはアプライアンスがコンフィギュレーション ファイルにローカル管理者アカウントのためのパスワードのハッシュされた形式を置くようにします。従って、デバイスから単に平らな「実行コンフィギュレーション」ファイルをコピーできません。この方式は最初には私達をアクセスしますアプライアンスに、発行します動的に現在のコンフィギュレーションを作成するためにコマンドを可能にしユーザ 介入なしでこのファイルのコピーを、どこかに保存するか、またはリモートで郵送して下さい。これが堪能なら、そしてこのタスクを繰り返すか、または定期的に発生するためにスケジュールできます。

すぐにはおよび自動的に暴露されるパスワードでバックアップ コンフィギュレーション ファイル :

1. 使用するために SSH keypair を生成し SSH によってパスワードをことを入力しない手動でアプライアンスにアクセスできることを確認して下さい。
2. アプライアンスにログインするためにスクリプトを作成し構成を保存し、コピーして下さい (またはそれを郵送して下さい)。

注 同じようなロジックは Windows のための VB またはバッチ スクリプトのようなあらゆる OS スクリプト言語で適用することができます。

`saveconfig` を使用して特定のホストへの設定を保存すること

スクリプトを `executable` 作れば、次への類似したを見るはずです:

コマンド `ls` を実行して `-la` はローカルシステムまたはホストのディレクトリのコンテンツをリストします。ファイル名、タイムスタンプおよび全面的な XML ファイルサイズを確認する必要があります。

`mailconfig` を使用して Eメールアドレスへの設定を E-メールを送ること

定期的に動作するためにタスクをスケジュールして下さい (UNIX/Linux)

ジョブを定期的に開始するのに cron (UNIX/Linux) を使用して下さい。Cron は crontab (cron 表) ファイルによって、ある特定のスケジュールで定期的に動作する shell コマンドを規定するコンフィギュレーションファイル駆動されます。crontab ファイルは cron デーモンへのジョブおよび他の手順のリストが保存されるところで保存されます。

UNIX/Linux cron config ファイルは一般的にこの形式に準拠します:

分 (0-59)、時間 (0-23、0 = 深夜)、日 (1-31)、月 (1-12)、平日 (0-6、0 = 日曜日)、コマンド

従って 2:00 AM でこのスクリプトを毎日実行するよい例 エントリはのように入検知します:

どのように Windows システムからのコンフィギュレーションファイルバックアップを自動化するか、またはスクリプトを書くことができますか。

次のプロシージャを使うと、Windows システムからコンフィギュレーション ファイルを定期的にバックアップできます。

1. ターミナル エミュレータ [PuTTY](#) をインストールして下さい。
2. 「send_config」と名付けられる mailconfig コマンドおよび有効な eメールアドレスでテキストファイルを作成して下さい。(簡単にするために、C:\の下にそれを置いて下さい)
3. 「send_config_batch」と名付けられる次の PuTTY コマンドでテキストファイルを作成して下さい。(簡単にするために、また C:\の下にそれを置いて下さい)
注 ESA の FQDN が IP アドレスにホスト名、および管理者アカウントのための実際のパスワードにパスワードを

定期的に動作するためにタスクをスケジュールして下さい (Windows)

タスク Scheduler、か Windows の同じようなスケジューリング ツールを使用する、Windows の Scheduled Tasks に「send_config_batch」を見つけ、追加して下さい。

ESA コンフィギュレーション ファイルは規定されるように「send_config」テキストファイルで規定されたアドレスに送られます。

注 この技術情報は proof-of-concept 一例として基礎であり。これらのステップが完全にテストされる間、この技術情報はデモおよび実例の目的のため主にです。カスタムスクリプトは Cisco のスコープおよびサポート可能性の外にあります。Ciscoテクニカル アシスタンスはカスタム外部スクリプトを書きませんか、アップデートするか、またはいつでも解決します。

関連情報

- [パスワードなしで ESA にログオンのための SSH 公開キー 認証の設定方法](#)
- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)